

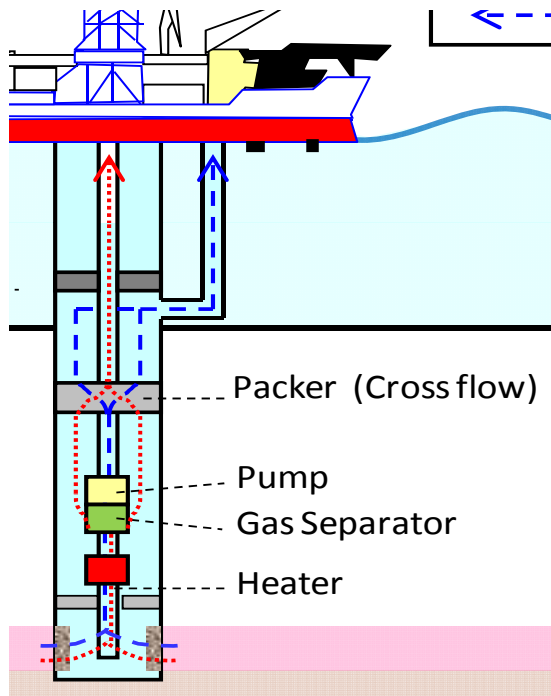
前回検討会における 主な指摘事項に対する回答

(※)第26回メタンハイドレート開発実施検討会の議事要旨より、
今後の検討に関する指摘として事務局及び事業実施者が整理した。

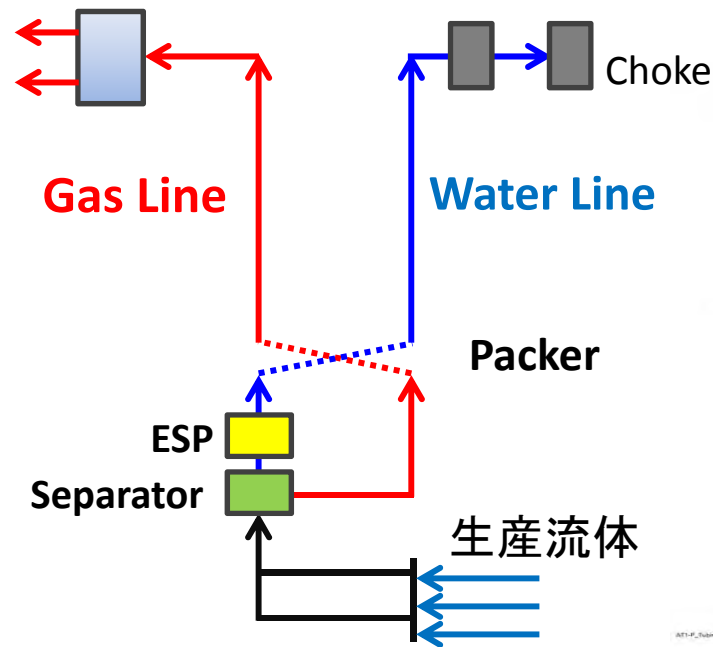
(Q) 高圧下におけるガス・水分離の現象を理解するためには、石油精製や石炭液化のプロセスも参考にしつつ、エンジニアリングの観点を踏まえた設計を検討することも必要なのではないか。



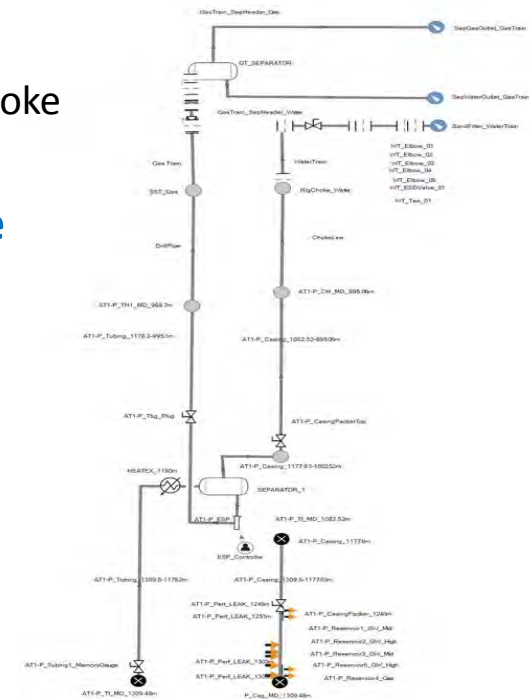
(A) WG3のメンバーを追加(多相流解析等の専門)し、パイプラインの設計等で使用される流動シミュレータOLGAを用いた、高圧下の管内流動の解析に取り組んでいるところ。今後は解析結果も踏まえ、専門家の意見を取り入れつつ、流動モデルの検討や室内実験などをさらに進める予定。これにより、次回の海洋産出試験に向けて、現実の現象に近い環境での設計の準備を実施する予定。



<海洋産出試験の坑内システム概略図>



<管内流動の概略図>



<シミュレータ用のモデル設定図>